

**「外国人留学生の就職や採用後の活躍に向けたプロジェクトチーム」第6回会合  
議事要旨**

- 日時：令和2年1月30日（木）16:00～18:00
- 場所：経済産業省別館2階 238 各省庁共用会議室
- 議事：（1）外国人留学生の採用・活躍に向けた3つのアウトプット（案）について  
（2）関係機関が取り組むべきアクション（案）について
- 意見交換の概要
  - ・ 日本企業では、「日本人のような外国人」を求める傾向にある。外国人材ならではの良さなどを踏まえた、採用・活躍につながるよう、気づきを与えられるとよい。
  - ・ 社内の相談窓口だけでなく、自治体など社外の相談体制や窓口の充実を図るべきではないか。また、それらの積極的な活用についても言及されるとよい。
  - ・ 現場社員が外国人材の受入れに対する具体的なイメージを持てているかが鍵となる。不安や気がかりな点がないか、日本人社員にヒアリングすることが重要。
  - ・ 外国人社員と日本人社員に対する対応に格差を設けるのではなく、各個人に適した対応をとることが主眼であるということ、十分に伝える必要がある。
  - ・ チェックリストの各項目について、社内の誰が実践するのか、各社の体制に合わせて落とし込むことが重要。
  - ・ 本調査のアウトプットを、どのように活用し、中小企業における外国人材の採用につなげるかが重要。
  - ・ 外国人採用企業に日本語教育の専門的知見がない場合でも、企業側がある程度の学習を積むことで、定着を見据えた外国人採用のための日本語の採用基準は作成できる。まずは個社の業務内容にあった基準を考えることが必要。その後、企業がどのように日本語の採用基準を作成、運用し、それを評価に組み込むかが重要である。
  - ・ 外国人社員だけでなく、日本人の上司が相談できる窓口を設置するなど、日本人社員に対する継続的な支援が必要。
  - ・ 求められるのは透明性の高い評価。外国人社員が目標を高く設定し、それができない場合にはきちんと指摘することが必要。日本人の上司は、評価する点だけでなく、評価できない点についても、合理的な理由を持って説明することが重要。

以上

※お問い合わせ先：経済産業政策局 産業人材政策室（03-3501-2259）